
留守を預かる自宅警備員の少年と猫

月兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

留守を預かる自宅警備員の少年と猫

【Nコード】

N8392Q

【作者名】

月兎

【あらすじ】

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

猫の視点で見る御主人とは？

吾輩は猫である。名前はまだない。

なに？パクリではないかだと？しょうがないではないか。我輩の一人称は我輩なのだし、我輩には名はまだないのだから。

なぜ我輩があのような有名な書籍のワンフリーズを知っているかだと？はあ、仕方ない、説明してやろうではないか。

我輩の主をしている少年は所謂文学少年と呼ばれるものらしい。いつも本を読んでいる。目にはメガネというらしい変なものをつけている。よくわからない四角い箱の前に座ってカタカタ言わせてりもしている。こういうのことを文学少年というのだと三丁目のミケから聞いた。

ミケとは誰だって？

ミケも知らないのか。ミケは三丁目のボスだ。たまたまあっちまで散歩に行ったときに仲良くなったのだ。

おっと、話が逸れてしまったな。つまり、我輩の主は頭がよろしいのだ。我輩としても鼻が高い。何？我輩が威張る事でもないだど？わかっておらん、主の事は我輩の事だ。

そんな主は我輩にいつもいろんなことを教えてくれている。さっきのワンフリーズもそのうちの一つだ。他にもたくさんあるぞ。

何だその顔は。何？ありきたりな理由でつまらないだと？ふんっ、
だったら聞くんじゃない。

そもそも貴様は何なんだ。貴様のような半透明な人間なんか主に
聞いたこともないぞ。ユーレイ？何だそれは。今度ミケか主に聞いて
みようか。だが主には我輩の言葉が通じないのだから、答えは返
ってこないかもしれないが。

そつえば、今日の夕餉は何だろうか。

僕は猫を飼っている。つい一月ほど前に路地裏で雨に打たれて震
えていた。夏目漱石の代表作ともいえる小説にちなんで名前はつけ
ていない。

その猫は結構好奇心が旺盛なようだ。僕が本を読んでいるとその
本を覗き込んできたりする。僕が話しかけると相槌を打つように鳴
いたりもする。結構賢い猫なのだろう。

今度は何しているのだろうか？何もない空間に向かってニャーニ
ャー鳴いている。そういえば猫は視えるって言うけど本当なのかな
？まあ、ただの都市伝説、冗談だよな。

……何も、いないよな？

ん？どうしたんだろう。今度は僕に向かって鳴いている。お腹が

すいたのかな？まったく、まだご飯までは時間があるのに食い意地がはってるなあ。

ああ、やはり勘違いされてしまった。我輩が欲しいのはユーレイについての説明であって、食事ではない。

なぜ主たちは我輩が話しかけると食事だと思うのだ。この間だってそうだ。背中をかいて欲しかったのに、おやつを出されたぞ。

いや、一応いただいてはおくがな。うむ、美味い。

まあ、ユーレイについてはまた今度という事にしておこうか。

おいしそうに食べてるな。さて、何をしようかな。んー、ネットゲでもするか。この間は寝オチしてしまったんだよな。今日はそんな事ないようにしておこう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8392q/>

留守を預かる自宅警備員の少年と猫

2011年10月8日18時35分発行